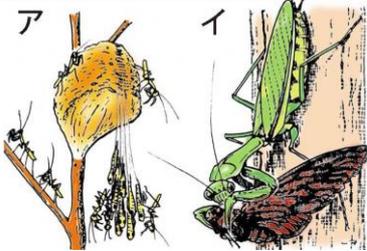




No. 1 季節と生物 (1)	名前	組 番	/10 問
-----------------	----	-----	-------

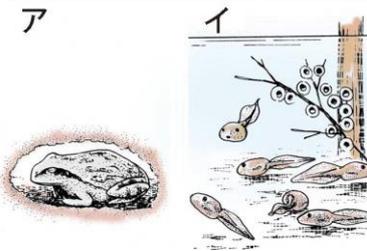
- 1 春に見られる生きものの様子について正しいものを、次のア、イからそれぞれ選んで () に書きましょう。

オオカマキリ



(1))

アマガエル



(2))

サクラ



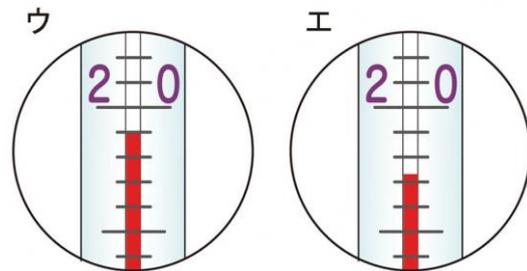
(3))

- 2 温度計の使い方について、次の () に当てはまる言葉や数を書きましょう。

- 1 温度計で気温をはかるときは、えきだめに直せつ日光が (4)) ようにする。

- 2 右の図のウのとき、温度計の温度は (5)) °Cです。

- 3 右の図のエのとき、温度計の温度は (6)) °Cです。



- 3 ヘチマの育ち方について、次の [] で正しいものを○で囲みましよう。

- 1 春に、ヘチマのたねをポットにまきました。

花だんに植えかえるとよいときは、〔7 芽が出た ・ 葉が3~5まいになった 〕ときです。

- 2 花だんに植えかえるときは、〔8 土ごと ・ 根の土をとってから 〕植えかえる。

- 3 夏になると、葉の数は、春とくらべて〔9 多く ・ 同じに ・ 少なく 〕なる。

- 4 夏になると、気温は、春とくらべて〔10 高く ・ 同じに ・ 低く 〕なる。

あたたかくなると、植物や動物の様子が変わるよ。



.....キリトリ.....

〈答え〉 1 ① ア ② イ ③ イ

2 ④ 当たらない ⑤ 19 ⑥ 17

3 ⑦ 葉が3~5まいになった ⑧ 土ごと ⑨ 多く ⑩ 高く



No. 2 天気の様子 (1)	名前	組 番 /10問
-----------------	----	----------

1 気温のはかり方について、下の [] のうち正しいものを○で囲みましょう。

1 右の図の百葉箱は、気温を正しく記録するために、
次のようなじょうけんではかれるようにつくられています。

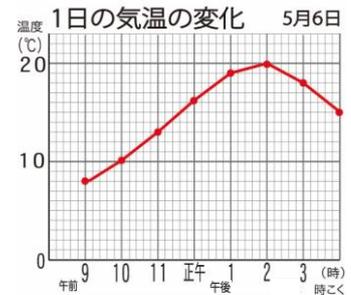
- ・温度計に、直せつ日光が [① 当たらない・当たる] ようにしてはかる。
- ・建物からはなれた風通しの [② 良い・わるい] ところではかる。
- ・温度計を、地面から [③ 20cm~50cm ・ 1m20cm~1m50cm] の高さではかる。



2 1日の気温の変化を記録するとき、気温はいつも [④ ちがう場所・同じ場所] ではかる。

2 1日の気温の変化について、次の () に当てはまる数を
書きましょう。

右のグラフで、気温がもっとも高くなったのは、
午後 (⑤) 時で、そのときの温度は、
(⑥) °Cです。



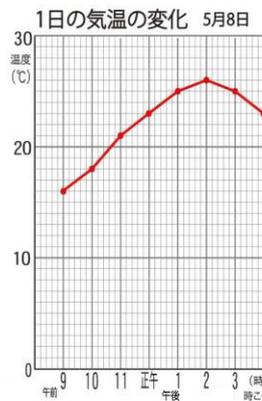
3 晴れの日と雨の日の、1日の気温の変化について、
次の [] のうち正しいものを○で囲みましょう。

1 晴れの日1日の気温は、
朝と夕方が [⑦ 高く・低く]、
昼すぎに [⑧ 高く・低く] なる。

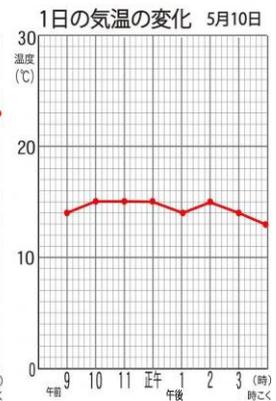
2 雨の日1日の気温は、
[⑨ あまり変化しない・大きく変化する]。

3 晴れの日1日の気温の変化は、右のグラフの
[⑩ ア・イ] です。

ア



イ



雲で日光がさえぎられると、地面が
あたたまらず、気温も上がらないよ。



.....キリトリ.....

〈答え〉 1 ① 当たらない ② 良い ③ 1m20cm~1m50cm ④ 同じ場所

2 ⑤ 2 ⑥ 20

3 ⑦ 低く ⑧ 高く ⑨ あまり変化しない ⑩ ア



No. 3 天気の様子 (2)	名前	組 番 /10問
-----------------	----	----------

1 次の [] のうち正しいものを○で囲みましょう。

晴れの日、日光が〔① 地面・空気〕をあたため、それから〔② 地面・空気〕をあたためて気温が上がる。そのため、気温が最も高くなるのは、正午からずれた〔③ 午前10時・午後2時〕ごろになりやすい。

2 水のゆくえについて、次の () に当てはまる言葉を書きましょう。

1 雨がやんでしばらくすると、

土の上のできた水たまり

しばらくたった後

水たまりは、

(④)。



2 土の上のできた水たまりがしばらくたった後、右の図のようになった主なわけは、水たまりの水が

(⑤) となって、空気中に出ていったからです。

3 水が⑤となって、空気中に出ていくことを、(⑥) といいます。

3 水のすがたについて、下の [] のうち正しいものを○で囲みましょう。

右の図のように、かわいたよう器に氷水を入れてふたをしたら、よう器の外側に水てきがついた。

氷水を入れたよう器

1 よう器の外側についた水てきは、〔⑦ 空気中・よう器の中〕にあったものです。

2 よう器の外側に水てきがついたのは、⑦にあった

〔⑧ 水じょう気・水〕が氷水に冷やされて

〔⑨ 水じょう気・水〕にすがたを変えたからです。

3 よう器の外に水てきがついた理由と、同じ理由で起こるのは、

〔⑩ まどガラスの内側に水てきがつく・せんたくものがかわく〕ことです。



水は、自然の中でいろいろなすがたに変わるね。
雪や水も、水がすがたを変えたものだよ。



.....キリトリ.....

〈答え〉 1 ① 地面 ② 空気 ③ 午後2時

2 ④ 無くなる ⑤ 水じょう気 ⑥ じょう発

3 ⑦ 空気中 ⑧ 水じょう気 ⑨ 水 ⑩ まどガラスの内側に水てきがつく



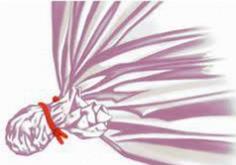
No. 4 空気と水のせいしつ(1)	名前	組 番 /10 問
--------------------	----	-----------

1 とじこめた空気について、下の〔 〕のうち正しいものを○で囲みましょう。

ア 口を一度しばる。

イ 口を一度しばり、口もとを折った後、もう一度しばる。

ウ



- 1 空気をとじこめたふくろの口のとじ方は、上の図の〔① ア・イ〕のようにする。
- 2 上の図のウで、ふくろを手でおすと、手ごたえは〔② ある・ない〕。
- 3 上の図のウで、手をはなすと、ふくろは〔③ へこんだままである・元にもどる〕。

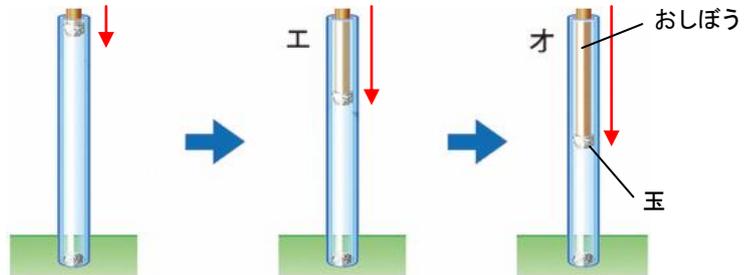
2 空気をとじこめたふくろを水の中に入れたときについて、次の〔 〕に当てはまる言葉を書きましょう。

右の図で、ふくろから出てきたあわは、
〔④ 〕です。



3 つつにとじこめた空気について、次の〔 〕のうち正しいものを○で囲みましょう。

- 1 とじこめた空気^{くわ}に力を加えると、空気はおしちぢめることが〔⑤ できる・できない〕。



- 2 とじこめた空気^{たいせき}に力を加えると、空気の体積は〔⑥ 大きくなる・変わらない・小さくなる〕。
- 3 上の図で、おしぼうをおしたときの手ごたえが大きいのは、〔⑦ エ・オ〕です。
- 4 上の図のオで、おしぼうをぬくと玉の位置^{いち}は、〔⑧ そのままだになる・元にもどる〕。
- 5 とじこめた空気をおしちぢめていくと、体積は〔⑨ 大きくなり・変わらない・小さくなり〕、元にもどろうとする力は〔⑩ 大きくなる・変わらない・小さくなる〕。

とじこめた空気をおしたとき、空気の体積や手ごたえは変わるね。



.....キリトリ.....

〈答え〉 1 ① イ ② ある ③ 元にもどる

2 ④ 空気 3 ⑤ できる ⑥ 小さくなる ⑦ オ ⑧ 元にもどる

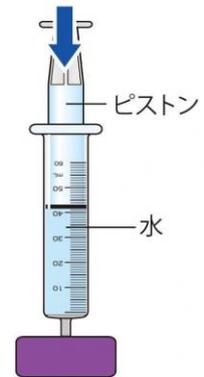
⑨ 小さくなり ⑩ 大きくなる



No. 5 空気と水のせいしつ(2)	名前	組 番 /10問
--------------------	----	----------

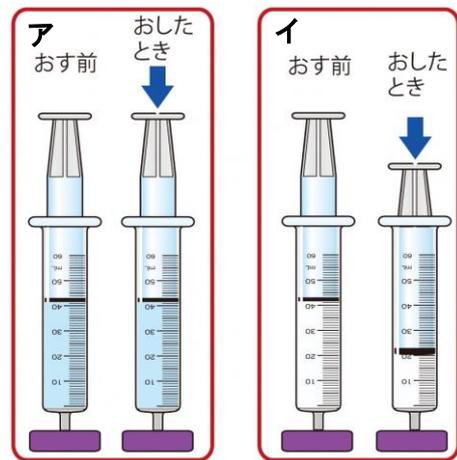
1 とじこめた水について、次の () に当てはまる言葉を書きましょう。

- 1 右の図のように、水を入れた注し器のピストンをおすと、ピストンの位置は ① () 。
- 2 とじこめた水に力を加えると、水はおしちぢめることが ② () 。
- 3 とじこめた水に力を加えると、水の体積は ③ () 。



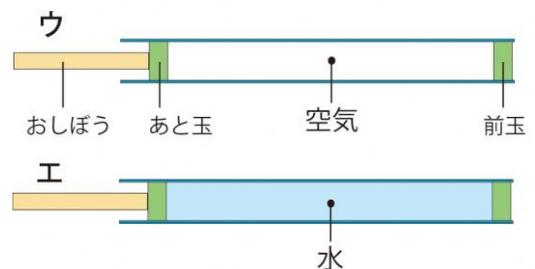
2 とじこめた空気と水について、次の [] のうち正しいものを○で囲みましょう。

- 1 ピストンをおしたとき、体積が小さくなっているのは、右の図の [④ ア・イ] だから、注し器の中には [⑤ 空気・水] が入っているとわかる。
- 2 とじこめた空気や水に力を加えると、[⑥ 空気・水] はおしちぢめることができるが、[⑦ 空気・水] はおしちぢめることができない。
- 3 とじこめた空気や水に力を加えると、[⑧ 空気・水] の体積は小さくなるが、[⑨ 空気・水] の体積は変わらない。



3 空気でっぼうと水でっぼうについて、次の [] のうち正しいものを○で囲みましょう。

右の図で、おしぼうをおしたとき、前玉がいきおいよく飛ぶのは、[⑩ ウ・エ] です。



とじこめた空気と水は、おしちぢめられたとき、体積の変わり方にちがいがあるよ。

.....キリトリ.....

- 〈答え〉 1 ① 下がる(変わらない) ② できない ③ 変わらない (同じ)
 2 ④ イ ⑤ 空気 ⑥ 空気 ⑦ 水 ⑧ 空気 ⑨ 水
 3 ⑩ ウ



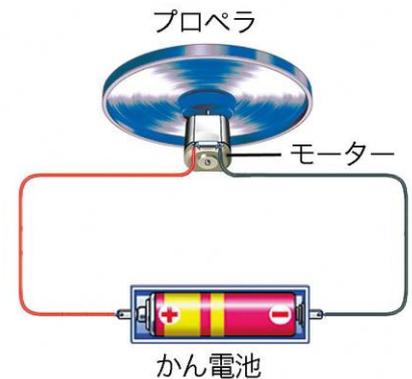
No. 6 電気のはたらき (1)	名前	組 番 /10問
-------------------	----	----------

1 電気のはたらきについて、次の () に当てはまる言葉や記号を書きましょう。

1 右の図のように、一つの輪^わのようになっている電気の通り道を (①) といいます。

2 ①を流れる電気の流れを (②) といいます。

3 右の図で、電気はかん電池の (③) 極^{きょく} からモーターを^{つう}って、 (④) 極に流れている。

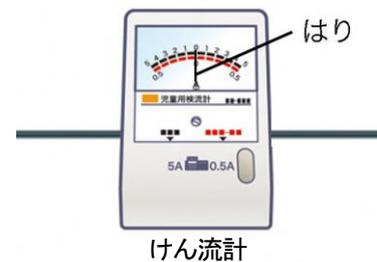


2 けん流計^{けんりゅうけい}について、次の () に当てはまる言葉を書きましょう。

1 右の図のようなけん流計を使うと、電流^{でんりゅう}の (⑤) や強さを調べることができる。

2 電流の向き^かを変えると、けん流計のはりのふれる向きは、 (⑥) 。

3 電流の強さを^か変えると、けん流計のはりのふれるはばは、 (⑦) 。

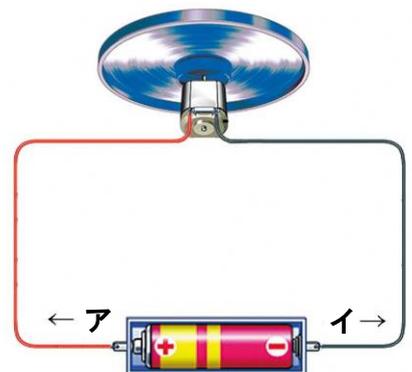


3 電流の向きについて、次の [] のうち正しいものを○で^{かこ}みましよう。

1 右の図で、電流は [⑧ ア・イ] の向きに流れる。

2 右の図で、かん電池の + 極と - 極^{プラス マイナス}を入れかえると、モーターの回る向きは [⑨ 変わる・変わらない] 。

3 右の図で、かん電池の + 極と - 極を入れかえると、回路を流れる電流の向きは [⑩ 変わる・変わらない] 。



電流には向きがあって、電流の向きが変わると、モーターの回る向きも変わるね。



.....キリトリ.....

〈答え〉 1 ① 回路 ② 電流 ③ + ④ -

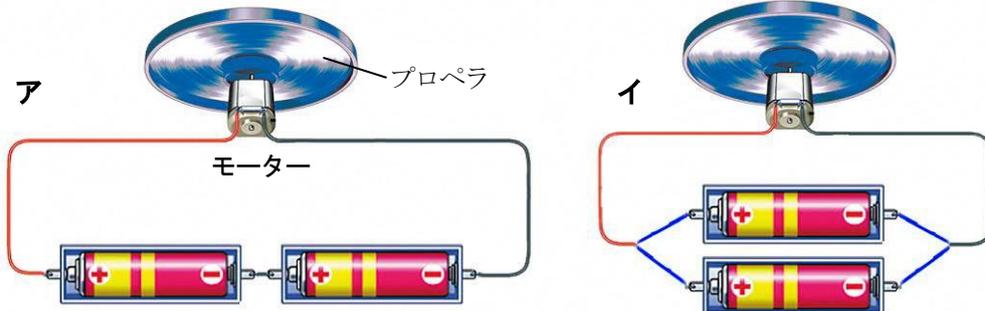
2 ⑤ 向き ⑥ 変わる (逆向きになる) ⑦ 変わる

3 ⑧ ア ⑨ 変わる ⑩ 変わる



No. 7 電気のはたらき (2)	名前	組 番 /10 問
-------------------	----	-----------

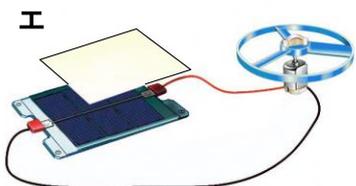
1 かん電池のつなぎ方について、下の〔 〕のうち正しいものを○で囲みましょう。



- 1 上の図の**ア**のつなぎ方は、かん電池の〔① 直列・へい列〕つなぎです。
- 2 上の図の**イ**のつなぎ方は、かん電池の〔② 直列・へい列〕つなぎです。
- 3 かん電池が1このときとくらべて、モーターの回る速さがより速くなるのは、上の図の〔③ **ア**・**イ**〕です。
- 4 かん電池が1このときとくらべて、モーターの回る速さがほとんど変わらないのは、上の図の〔④ **ア**・**イ**〕です。
- 5 2このかん電池を直列つなぎにすると、かん電池が1このときとくらべて、回路に流れる電流の強さは〔⑤ 強くなる・ほとんど変わらない・弱くなる〕。また、モーターの回る速さは〔⑥ 速くなる・ほとんど変わらない・おそくなる〕。
- 6 2このかん電池をへい列つなぎにすると、かん電池が1このときとくらべて、回路に流れる電流の強さは〔⑦ 強くなる・ほとんど変わらない・弱くなる〕。また、モーターの回る速さは〔⑧ 速くなる・ほとんど変わらない・おそくなる〕。

2 光電池について、次の()に当てはまる言葉を書きましょう。

- 1 右の図の**ウ**のように、光電池に(⑨)
が当たると、回路に電流が流れて、モーターが回る。
- 2 右の図の**エ**のようにすると、回路に電流は流れなくなり、
モーターは(⑩)。



回路に流れる電流の強さによって、
モーターの回る速さが変わるよ。



.....キリトリ.....

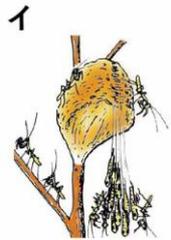
- 〈答え〉 1 ① 直列 ② へい列 ③ **ア** ④ **イ** ⑤ 強くなる ⑥ 速くなる
⑦ ほとんど変わらない ⑧ ほとんど変わらない
- 2 ⑨ 光 ⑩ 回らない(止まる)



No. 8 ^{きせつ} 季節と生物 (2)	名前	組 番 /10問
--------------------------------	----	----------

1 次の生きものの秋に見られる様子について正しいものを、下のア、イからそれぞれ選んで () に書きましょう。

オオカマキリ



たまごを産む

たまごからかえる

(1)

)

ツバメ



たまごを産む

子ツバメが育って飛べるようになる

(2)

)

ヘチマ



花がさく

茶色い実になる

(3)

)

2 次の生きものの冬に見られる様子について正しいものを、下のア、イからそれぞれ選んで () に書きましょう。

カブトムシ



成虫

よう虫

(4)

)

アマガエル



田んぼで鳴いている

土の中で動かずにいる

(5)

)

サクラ



新しい芽がついている

葉がしげっている

(6)

)

3 季節ごとのサクラの様子について、次の [] のうち正しいものを○で囲みましょう。

- 1 春から夏にかけて、サクラの葉の数は [⑦ 多く・少なく] になった。
- 2 冬になると、サクラの葉は [⑧ すべて落ちた・緑色になった] 。
- 3 冬になると、サクラのえだには [⑨ つぼみ・芽] がついていた。
- 4 1年間の気温の変化を調べると、[⑩ 春・夏・秋・冬] は気温がもっとも高くなり、サクラがよく成長する。

それぞれの季節に見られる生きものの様子をまとめてみよう。



.....キリトリ.....

〈答え〉 1 ① ア ② イ ③ イ

2 ④ イ ⑤ イ ⑥ ア

3 ⑦ 多く ⑧ すべて落ちた ⑨ 芽 ⑩ 夏

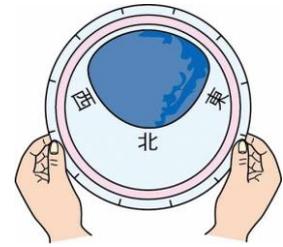


No. 9 月と星の動き (1)	名前	組 番 /10問
------------------	----	----------

1 星の調べ方について、次の () に当てはまる言葉を書きましょう。

1 右の図は、星をさがすときに使う道具で、
(1) () といいます。

2 右の図のように持っているときは、
(2) () の空を見るときを持ち方です。

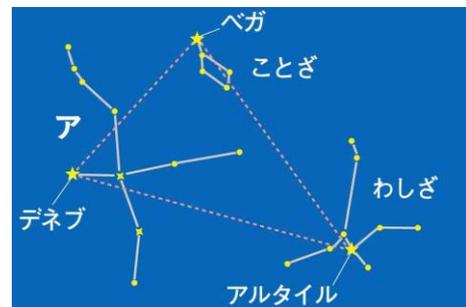


2 夏の空の星について、次の () に当てはまる言葉を書きましょう。

1 星と星を結んで、いくつかのまとまりに分けたものを
(3) () といいます。

2 右の図の**ア**の星のまとまりを、
(4) () といいます。

3 右の図のように、デネブ、ベガ、アルタイルを結んだ
三角形を (5) () といいます。

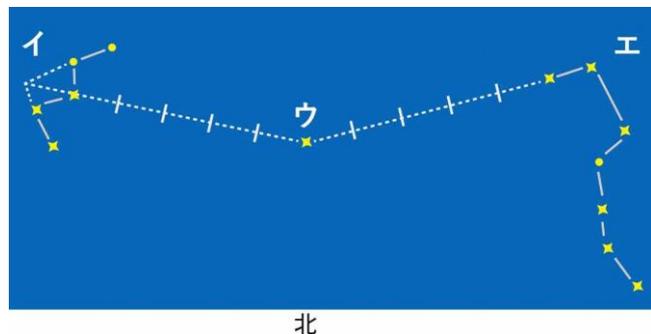


3 北の空の星について、次の () に当てはまる言葉を書きましょう。

1 右の図の**イ**の星のまとまりを、
(6) () といいます。

2 右の図で、ほぼ真北の方角にある**ウ**の
星を、(7) () と
いいます。

3 右の図の**エ**の星のまとまりを、
(8) () といいます。



4 星の明るさや色について、次の [] のうちで正しいものを○で囲みましょう。^{かこ}

1 星の明るさは、[⑨ どれも同じ ・ それぞれちがう]。

2 星の色は、[⑩ どれも同じ ・ それぞれちがう]。

デネブ、ベガ、アルタイルは、どれもとても明るい星だよ。



キリトリ

〈答え〉 1 ① 星ざ早見 ② 北 2 ③ 星ざ ④ はくちょうざ ⑤ 夏の^{かこ}大三角

3 ⑥ カシオペヤざ ⑦ 北^{ほっきょくせい}極星 ⑧ 北^{ほく}と七^{しちせい}星

4 ⑨ それぞれちがう ⑩ それぞれちがう



No.10 月と星の動き(2)	名前	組 番 /10問
-----------------	----	----------

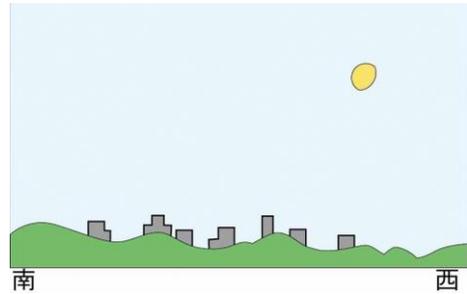
1 朝見える月の動きについて、次の〔 〕のうち正しいものを○で囲みましょう。

1 月を観察をするとき、立つ位置は毎回

〔① 変える・同じにする〕。

2 右の図のように、午前9時ごろに西の空に見えた月

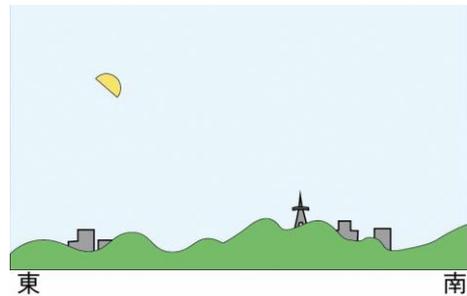
は、時間がたつと〔② 南・西〕の方へ



2 午後の月の動きについて、次の〔 〕のうち正しいものを○で囲みましょう。

右の図のように、午後3時ごろに東の空に見えた月

は、夕方には〔④ 東・南〕の空の



3 月の1日の動き方について、次の〔 〕のうち正しいものを○で囲みましょう。

1 右の図のように、月は、

〔⑥ 東・南・西〕からのぼり、

〔⑦ 東・南・西〕の空を通過して、

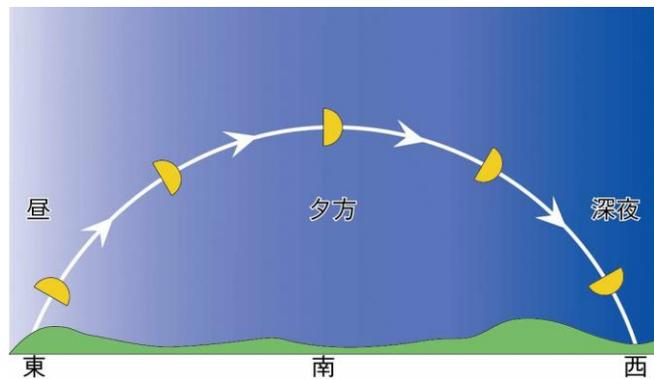
〔⑧ 東・南・西〕にしずむ。

2 月の1日の動き方は、太陽の動き方と

〔⑨ にている・ちがっている〕。

3 月は日によって、形が

〔⑩ 変わって・同じように〕見える。



満月は、夕方に東の空の低い位置に見えるよ。
そのあと、どのように動くか予想してみよう。



.....キリトリ.....

〈答え〉 1 ① 同じにする ② 西 ③ しずんで

2 ④ 南 ⑤ 高い

3 ⑥ 東 ⑦ 南 ⑧ 西 ⑨ にている ⑩ 変わって



No.11 月と星の動き (3)	名前	組 番 /10問
------------------	----	----------

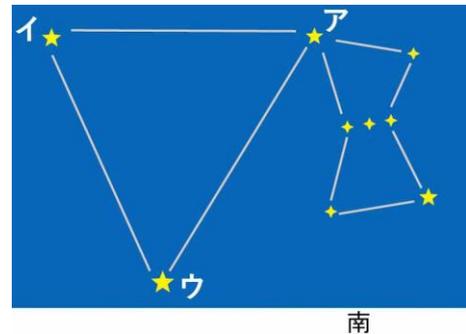
1 夏の星の動きについて、次の〔 〕のうち正しいものを○で囲みましょう。

- 1 星を観察するときの1回目と2回目の立つ位置は、
〔① 場所を変える ・ 同じ場所にする 〕。
- 2 星の位置は、〔② 雲 ・ 建物 〕などを目印にして、記録用紙に記入する。
- 3 星が見える位置は、時間によって〔③ 変わる ・ 変わらない 〕。
- 4 星どうしの並び方は、時間によって〔④ 変わる ・ 変わらない 〕。



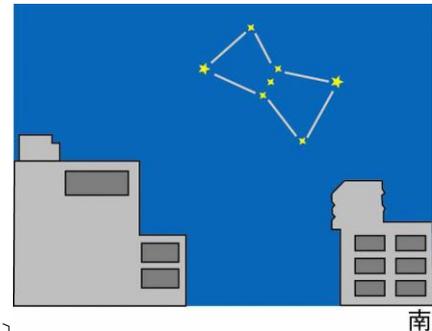
2 冬の星について、次の()に当てはまる言葉を書きましょう。

- 1 冬の空でひときわ目立つ、右の図の**ア**の星をふくむ星ざを(⑤)といいます。
- 2 右の図の明るい星**ア**、**イ**、**ウ**を結んだ三角形を(⑥)といいます。



3 冬の星の動きについて、次の〔 〕のうち正しいものを○で囲みましょう。

- 1 右の図の星ざの見える位置は、時間によって〔⑦ 変わる ・ 変わらない 〕。
- 2 右の図の星ざの星どうしの並び方は、時間によって〔⑧ 変わる ・ 変わらない 〕。
- 3 冬の星の明るさは、〔⑨ どれも同じ ・ それぞれちがう 〕。
- 4 冬の星の色は、〔⑩ どれも同じ ・ それぞれちがう 〕。



冬の星も、夏の星の動き方と同じかな。
また、明るさや色はどうかな。



.....キリトリ.....

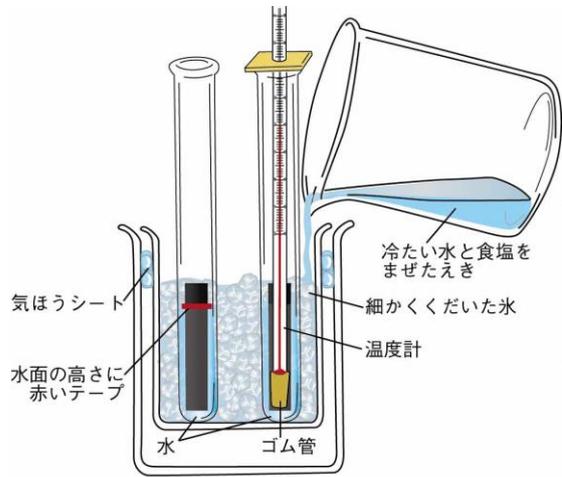
- 〈答え〉
- 1 ① 同じ場所にする ② 建物 ③ 変わる ④ 変わらない
 - 2 ⑤ オリオンざ ⑥ 冬の大三角
 - 3 ⑦ 変わる ⑧ 変わらない ⑨ それぞれちがう ⑩ それぞれちがう



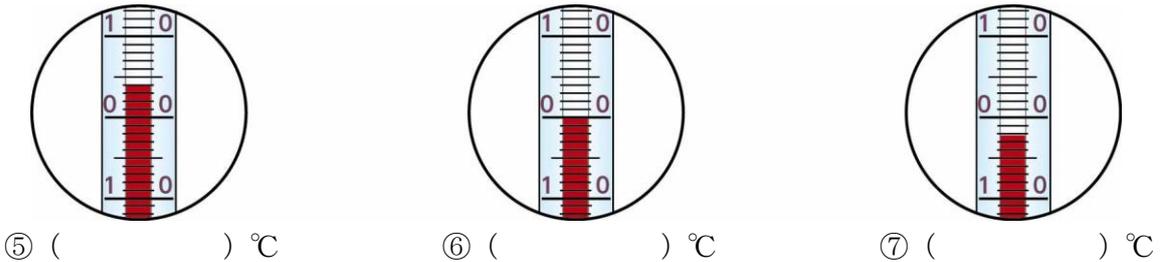
No.12 <small>こたい えきたい</small> 固体・液体・気体	名前	組 番 /10問
--	----	----------

1 水がこおるときの様子について、次の () に当てはまる数や言葉を書きましょう。

- 右の図のそう置で、水を冷やしていくと、
(1) () °C でこおり始める。
- 水がすべて氷になるまで、試験管内の温度は
(2) () 。
- 水がすべて氷になると、試験管内の温度は
0°C より (3) () 。
- 水が氷になると、体積は
(4) () 。

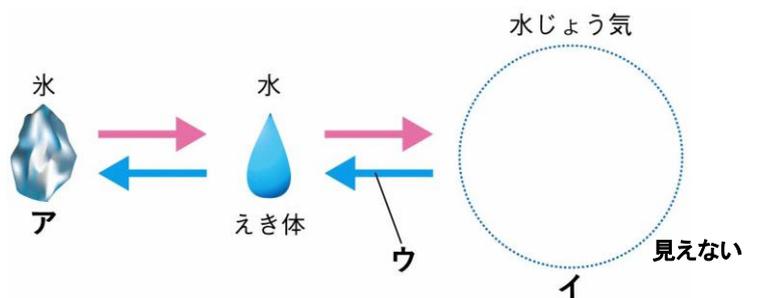


2 温度計の目もりをそれぞれ読んで、下の () に当てはまる数を書きましょう。



3 温度による水のすがたの変化について、次の [] のうち正しいものを○で囲みましょう。

- 右の図で、**ア**の水のすがたを、
〔⑧ 気体・固体〕といます。
- 右の図で、**イ**の水のすがたを、
〔⑨ 気体・固体〕といます。
- 右の図の矢印**ウ**は、水を
〔⑩ 冷やした・あたためた〕
ときの変化です。



水は温度によってすがたがかわるよ。
どのように変わるのかをまとめよう。



.....キリトリ.....

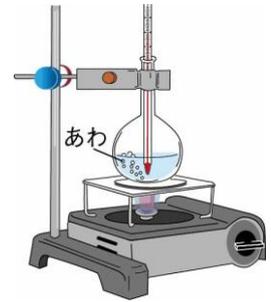
- 〈答え〉 1 ① 0 ② 変わらない(0°Cのまま変わらない) ③ 下がる(低くなる) ④ ふえる
2 ⑤ 4 ⑥ 0 ⑦ -2
3 ⑧ 固体 ⑨ 気体 ⑩ 冷やした



No.13 水と温度	名前	組 番 /10問
------------	----	----------

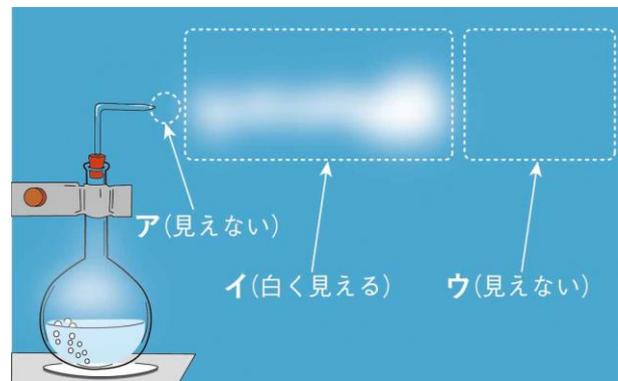
1 水を熱したときの変化について、次の () に当てはまる数や言葉を書きましょう。

- 右の図のそう置で、水の温度が (①) °C に近づくと、水の中からはげしくあわが出てくる。このことを水の (②) といいます。
- 水の中から出てくる大きなあわは (③) です。



2 ゆげと水じょう気について、次の [] のうち正しいものを○で囲みましょう。

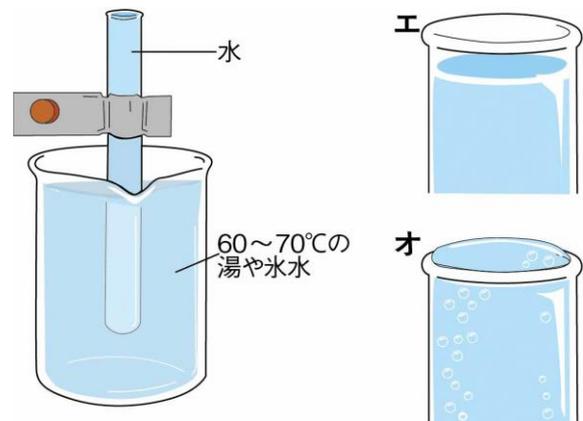
- 右の図の**ア**の部分は、
[④ ゆげ・水じょう気] です。
- 右の図の**イ**の部分は、
[⑤ ゆげ・水じょう気] です。
- 右の図の**ウ**の部分は、
[⑥ ゆげ・水じょう気] です。



3 水の体積と温度の関係について、下の [] のうち正しいものを○で囲みましょう。

右の図のように、水を入れた試験管を湯や氷水に入れました。

- 湯に入れると、試験管の口は、右の図の [⑦ **エ**・**オ**] のようになる。
- 氷水に入れると、試験管の口は、右の図の [⑧ **エ**・**オ**] のようになる。
- 水は、あたためられて温度が高くなると体積が [⑨ ふえる・へる] 。
- 水は、冷やされて温度が低くなると体積が [⑩ ふえる・へる] 。



水はあたためたり、冷やしたりすると、体積が変わるね。



.....キリトリ.....

- 〈答え〉
- ① 100 ② ふつとう ③ 水じょう気
 - ④ 水じょう気 ⑤ ゆげ ⑥ 水じょう気
 - ⑦ **オ** ⑧ **エ** ⑨ ふえる ⑩ へる

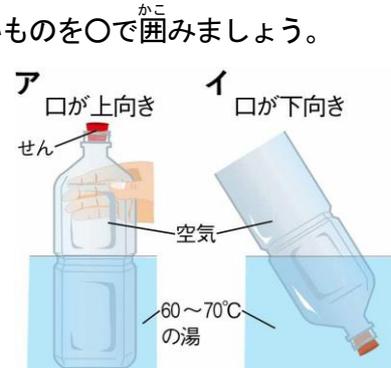


No. 14 空気と温度	名前	組 番	/10問
--------------	----	-----	------

1 せんをしたペットボトルについて、下の [] のうち正しいものを○で囲みましょう。

右の図の**ア**、**イ**のようにして、せんをしたペットボトルを湯の中に入れました。

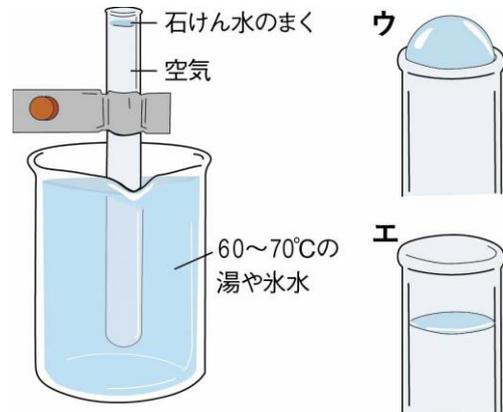
- せんをしたペットボトルの口は、人に
〔① 向けてもよい・向けない〕。
- 右の図の**ア**のせんは、〔② 飛び出す・飛び出さない〕。
- 右の図の**イ**のせんは、〔③ 飛び出す・飛び出さない〕。



2 空気の体積と温度の関係について、下の [] のうち正しいものを○で囲みましょう。

右の図のように、空気を入れた試験管の口に石けん水のまくを作り、湯や氷水に入れました。

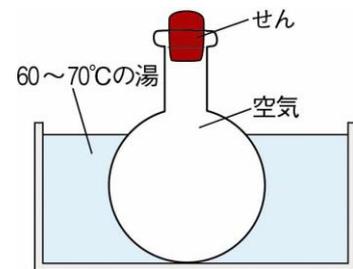
- 湯に入れると、右の図の〔④ **ウ**・**エ**〕のようになる。
- 氷水に入れると、右の図の〔⑤ **ウ**・**エ**〕のようになる。
- 空気は、あたためられて温度が高くなると、体積が〔⑥ ふえる・へる〕。
- 空気は、冷やされて温度が低くなると、体積が〔⑦ ふえる・へる〕。
- 空気をあたためたり冷やしたりしたときの体積の変わり方は、水にくらべると〔⑧ 大きく・小さく〕なる。



3 空気の体積と温度の関係について、次の [] のうち正しいものを○で囲みましょう。

右の図のように、せんをしたよう器を湯の中に入れると、せんが飛び出しました。せんが飛び出すのは、よう器の中の空気があたためられて温度が〔⑨ 高く・低く〕なり、体積が

〔⑩ ふえて・へって〕、せんを内側からおすためです。



空気も水と同じように、あたためたり冷やしたりしたりすると、体積が変わるね。



.....キリトリ.....

- 〈答え〉
- 1 ① 向けない ② 飛び出す ③ 飛び出す
- 2 ④ **ウ** ⑤ **エ** ⑥ ふえる ⑦ へる ⑧ 大きく
- 3 ⑨ 高く ⑩ ふえて



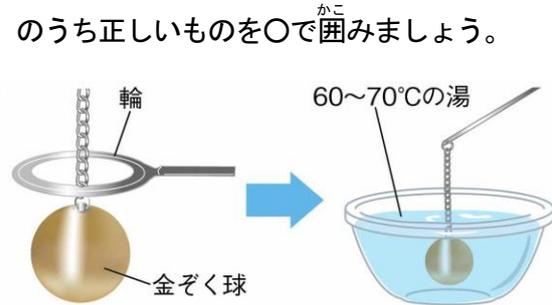
No. 15 金ぞくと温度	名前	組 番 /10問
---------------	----	----------

1 金ぞくをあたためたときについて、次の〔 〕のうち正しいものを○で囲みましょう。

右の図のように、金ぞく球が輪を通りぬけることをたしかめたあと、金ぞく球を湯であたためました。

このとき、金ぞく球は輪を

〔① 通りぬける ・ 通りぬけなくなる 〕。

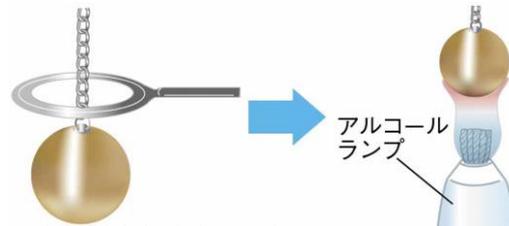


2 アルコールランプの使い方について、次の〔 〕のうち正しいものを○で囲みましょう。

- 1 しんの長さは〔② 5~6 mm ・ 1~2 cm 〕にする。
- 2 アルコールの量は〔③ 目いっぱい ・ 八分目 〕にする。
- 3 火をつけるときは、マッチの火を〔④ 上 ・ 下 〕の方から近づける。
- 4 火を消すときは、ランプの下の方を手でおさえ、ななめ上から〔⑤ 息をふきかける ・ ふたをかぶせる 〕。

3 金ぞくの体積と温度の関係について、下の〔 〕のうち正しいものを○で囲みましょう。

右の図のように、金ぞく球が輪を通りぬけることをたしかめたあと、金ぞく球を、アルコールランプでじゅうぶんに熱しました。



- 1 このとき、金ぞく球は輪を〔⑥ 通りぬける ・ 通りぬけなくなる 〕。
- 2 熱したあと、じゅうぶんに冷えるまで待ち、もう一度輪に通してみると、金ぞく球は輪を〔⑦ 通りぬける ・ 通りぬけなくなる 〕。
- 3 金ぞくは、あたためられて温度が高くなると体積が〔⑧ ふえる ・ へる 〕。
- 4 金ぞくは、冷やされて温度が低くなると体積が〔⑨ ふえる ・ へる 〕。
- 5 金ぞくをあたためたり冷やしたりしたときの体積の変わり方は、空気や水にくらべると、〔⑩ 大きい ・ 小さい 〕。

金ぞくも空気や水と同じように、あたためたり、冷やしたりしたとき体積が変わるね。



.....キリトリ.....

- 〈答え〉
- 1 ① 通りぬける
 - 2 ② 5~6 mm ③ 八分目 ④ 下 ⑤ ふたをかぶせる
 - 3 ⑥ 通りぬけなくなる ⑦ 通りぬける ⑧ ふえる ⑨ へる ⑩ 小さい

No.16 もののあたたまり方(1)	名前	組 番 /10問
--------------------	----	----------

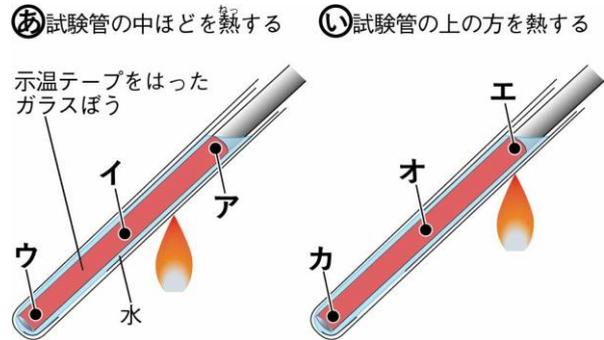
1 試験管の水のあたたまり方について、次の〔 〕のうち正しいものを○で囲みましょう。

1 右の図の㉞、㉟のように、水のあたたまり方を調べます。この示温テープは決められた温度まで〔① 上がる・下がる〕と色が変わる。

2 右の図の㉞で、いちばん先にあたたまるところは〔② ア・イ・ウ〕である。

3 右の図の㉟で、いちばん先にあたたまるところは〔③ エ・オ・カ〕である。

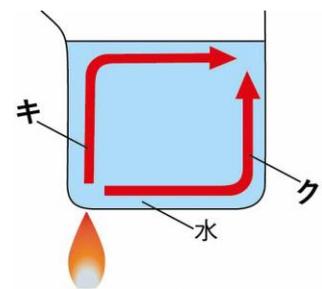
4 水を熱すると、熱したところから〔④ 上・下〕の部分から先にあたたまるところがある。



2 熱した水の動き方について、次の〔 〕のうち正しいものを○で囲みましょう。

1 右の図のようにして水を熱すると、水は〔⑤ キ・ク〕の矢印の向きに動く。

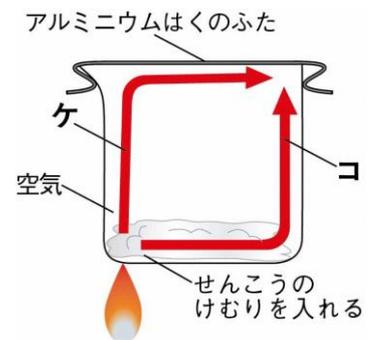
2 水は、熱したところの水が〔⑥ 上・下〕に動き、かわりに冷たい水が〔⑦ 上・下〕に動くというように、水が動くことによって、全体があたたまるところがある。



3 空気のアたたまり方について、次の〔 〕のうち正しいものを○で囲みましょう。

1 右の図のようにして空気を熱すると、せんこうのけむりは〔⑧ ケ・コ〕の矢印の向きに動く。

2 空気は、熱したところの空気が〔⑨ 上・下〕に動き、かわりに冷たい空気が〔⑩ 上・下〕に動くというように、空気が動くことによって、全体があたたまるところがある。



水と空気のアたたまり方はにているけど、金ぞくはどうかな。



.....キリトリ.....

- 〈答え〉 1 ① 上がる ② ア ③ エ ④ 上
 2 ⑤ キ ⑥ 上 ⑦ 下
 3 ⑧ ケ ⑨ 上 ⑩ 下



No.17 もののあたたまり方(2)	名前	組 番 /10問
--------------------	----	----------

1 金ぞくのぼうや板のあたたまり方について、次の〔 〕のうち正しいものを○で囲みましょう。

1 右の図の㉠、㉡、㉢のように、金ぞくのあたたまり方を調べるときは、金ぞくに

〔① ねん土・ろう〕をぬるとよい。

2 金ぞくがあたたまっていることは、ぬった①が〔② とける・かたまる〕ことで分かる。

3 右の図の㉠について、

・いちばん先にあたたまる点は、

〔③ ア・イ・ウ〕である。

・最後にあたたまる点は、

〔④ ア・イ・ウ〕である。

4 右の図の㉡について、

・いちばん先にあたたまる点は、

〔⑤ エ・オ・カ〕である。

・最後にあたたまる点は、

〔⑥ エ・オ・カ〕である。

5 右の図の㉢について、

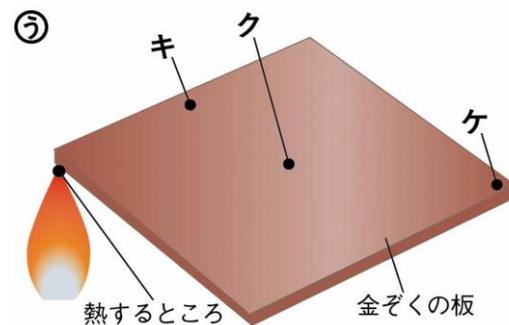
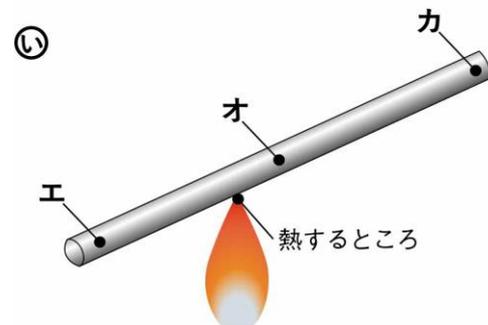
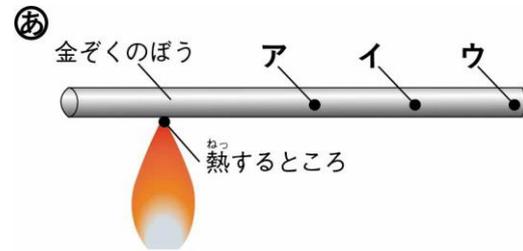
・いちばん先にあたたまる点は、

〔⑦ キ・ク・ケ〕である。

・最後にあたたまる点は、

〔⑧ キ・ク・ケ〕である。

6 熱した金ぞくは、〔⑨ すぐにかたづける・冷めるまでさわらない〕ようにする。



2 金ぞくのあたたまり方について、次の()に当てはまる言葉を書きましょう。

金ぞくの一部を熱すると、熱したところから熱が伝わり、(10) にあたたまっていく。

金ぞくのぼうでも板でも、あたたまり方には共通しているところがあるね。



.....キリトリ.....

〈答え〉 1 ① ろう ② とける ③ ア ④ ウ ⑤ オ ⑥ カ ⑦ キ ⑧ ケ

⑨ 冷めるまでさわらない

2 ⑩ 順

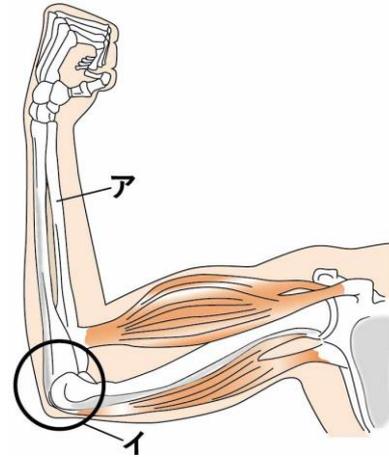


No.18 人の体のつくりと運動(1)	名前	組 番 /10問
---------------------	----	----------

1 うでや手のつくりについて、次の () に

当てはまる言葉を書きましょう。

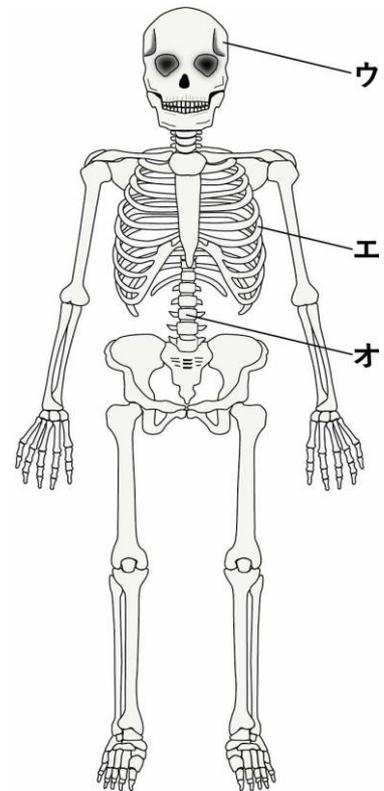
- 1 右の図の**ア**の部分を (①) という。
- 2 右の図の**イ**の部分を (②) という。
- 3 うでや手には、かたい (③) がある。
- 4 ほねとほねの間には (④) という
つなぎ目がある。



2 全身のほねについて、次の [] のうち正しいものを

○で囲みましょう。

- 1 ほねは、たがいに組み合わさり、体を
[⑤ ささえる ・ つりあげる] のに役立っている。
- 2 右の図の**ウ**の部分は [⑥ 頭 ・ むね] のほねで、
[⑦ のう ・ はいや心ぞう] を守っている。
- 3 右の図の**エ**の部分は [⑧ 頭 ・ むね] のほねで、
[⑨ のう ・ はいや心ぞう] を守っている。
- 4 右の図の**オ**の部分は [⑩ せなか ・ あし] のほねで、
多くの関節でつながっており、体を曲げたりねじったり
することができる。



フナ、カエル、ワニ、ニワトリ、ウシなどにも、わたしたちの体と同じように、関節でつながったたくさんのほねがあるよ。



.....キリトリ.....

〈答え〉 1 ① ほね ② 関節 ③ ほね ④ 関節

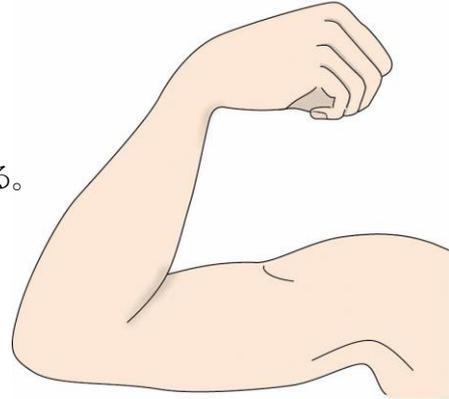
2 ⑤ ささえる ⑥ 頭 ⑦ のう ⑧ むね ⑨ はいや心ぞう ⑩ せなか



No.19 人の体のつくりと運動(2)	名前	組 番 /10問
---------------------	----	----------

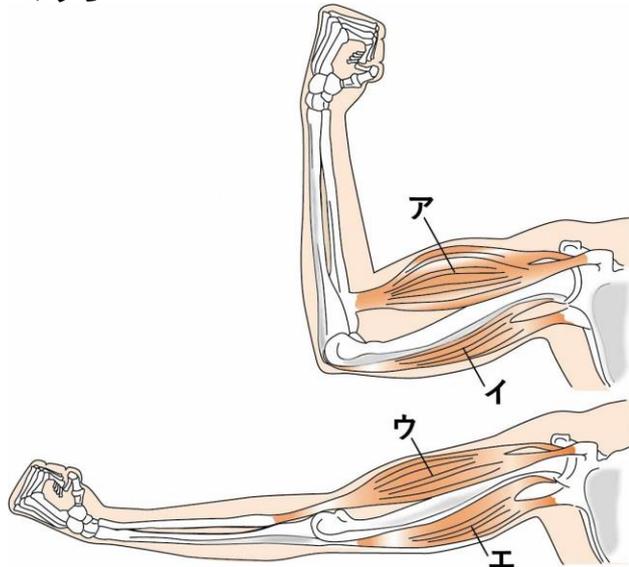
1 うでのつくりについて、次の () に当てはまる言葉を書きましょう。

- うでをさわったとき、いつもかたい部分は
(①) である。
- うでに力を入れて曲げたとき、かたくなったり、
ふくらんで見えたりする部分は (②) である。
- きん肉が (③) だり、
(④) だりすることにより、
うでは (⑤) の部分で曲がる。



2 うでが曲がる様子について、次の [] のうち正しいものを○で囲みましょう。

- うでを曲げるとき
 - 右の図の**ア**のきん肉は
〔⑥ ちぢむ・ゆるむ〕。
 - 右の図の**イ**のきん肉は
〔⑦ ちぢむ・ゆるむ〕。
- うでをのばすとき
 - 右の図の**ウ**のきん肉は
〔⑧ ちぢむ・ゆるむ〕。
 - 右の図の**エ**のきん肉は
〔⑨ ちぢむ・ゆるむ〕。
- わたしたちは、〔⑩ ほねだけ・きん肉だけ・ほねときん肉〕のはたらきで、体を動かしたりささえたりしている。



カモはむねのきん肉が、ウサギは足のきん肉がそれぞれ発達しているよ。



キリトリ

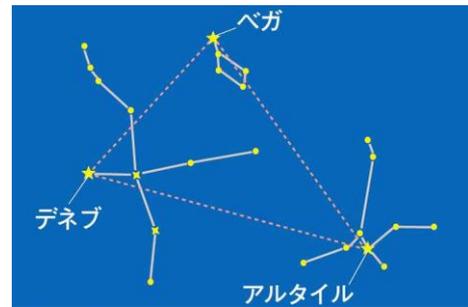
- 〈答え〉 1 ① ほね ② きん肉 ③ ちぢん ④ ゆるん (③④の順番は問いません)
⑤ 関節
- 2 ⑥ ちぢむ ⑦ ゆるむ ⑧ ゆるむ ⑨ ちぢむ ⑩ ほねときん肉



No. 20 4年生のまとめ	名前	組 番 /10問
----------------	----	----------

これまでに学んだことについて、次の () に当てはまる言葉を書きましょう。

- 1 温度をはかるとき、えきだめに直せつ (①) が当たらないようする。
- 2 とじこめた空気と水に力を加えたとき、(②) の体積は小さくなるが、(③) の体積は変わらない。
- 3 かん電池の向きを変えると、回路を流れる (④) の向きが変わる。
- 4 右の図の点線は、夏の空に見えたデネブ、ベガ、アルタイルを結んでできる三角形である。
この三角形を (⑤) という。



- 5 右の図は、温度による水のすがたをまとめたものである。

- ・右の図の **ア** のすがたを (⑥) という。
- ・右の図の **イ** は、水が気体のすがたのときで、(⑦) という。



- 6 空気、水、金ぞくの中で、温度による体積の変わり方がいちばん大きいのは、(⑧) である。
- 7 空気、水、金ぞくの中で、熱したところから熱が伝わり、順にあたたまるのは、(⑨) である。
- 8 ほねとほねのつなぎ目の部分を (⑩) という。

4年の理科はどうだったかな？

もうすぐはじまる5年の理科でも、科学の芽を育てていこう！



.....キリトリ.....

- 〈答え〉 ① 日光 ② 空気 ③ 水 ④ 電流 ⑤ 夏の大三角 ⑥ 固体 ⑦ 水じょう気
⑧ 空気 ⑨ 金ぞく ⑩ 関節